

ニューヨーク社長／エグゼクティブセミナー・シリーズ開催

ニューヨークに在籍する企業人が「メンター」となり、若手の人材へ知見を共有する「ニューヨーク社長／エグゼクティブセミナー」が6月9日、日本クラブで開催された。今回の「メンター」役の講師は東京海上グループの米国現地法人トウキョウ・マリン・マネジメント・インク社長兼最高経営責任者（CEO）の梅田恒樹さん。「トウ・ピー・ア・グッド・カンパニー」(To Be a Good Company)の企業理念を元に、米国事業の「挑戦と成長」について語った。

梅田さんは事業の身近な例として、東日本大震災の時に会社を挙げての支援を紹介。保険会社として「To Be a Good Company」という時のために心から何を支援すべきかを述べている。

セミナーの冒頭で主催NPOの社長が「メンター」の役割を説明し、梅田さんの講演を聴きながら、参加者は熱心にメモを取っていた。梅田さんは「メンター」の役割を説明し、梅田さんの講演を聴きながら、参加者は熱心にメモを取っていた。

NPO法人ジャネット主催

「いざ」という時に、心から支える姿勢

Tokio Marine Management梅田CEOが講演

当日は約60人が参加し、互いの知識を向上させ、視野を広げた。同セミナーは、事業内容や経験と向上心ある在ニューヨークの若手の架け橋となつて定期的に開催している。

主催NPO法人ジャネット（業枝洋代表）同セミナーは、対米進出日系企業が中心のニューヨーク日本商

会が後援し、企業駐在員の多くがメンバーとなる日本クラブを会場とする。日系的な団体と向上心ある在ニューヨークの若手の架け橋となつて定期的に開催している。

「大企業の社長クラスの方がここまでフランクに語っていただけると感じました」と、参加者は「自分の業界と違うだけにビジネスヒントが満載だった」と感想を述べた。

動き出したオールジャパン、未来へ還元の輪



熱心に講演を聞く参加者たち

■「挑戦」と「成長」、ファミリーは社員とその家族の1000人
米国での損害保険事業は各50州で規制が異なる。規制の経験や商品力のある地元企業のM&Aによる事業拡大へ転換した事は「大いなる挑戦」であったと、梅田さんは述べた。「自分の家族は社員とその家族、1000人」と言われる梅田さんは、従業員1人1人とのコミュニケーションのために「タウン・ホール」と称する会談の場を設け、各地の社員と交流する。全社員に損害が起きた時こそ迅速なサービスを提供する考えが浸透しているのはこのためだ。

■オール・ジャパンで未来へ還元
NPOジャネットではFJMN活動に賛同した企業、熱意ある事務局ボランティア、インターンを随時募集している。「若手の未来のために」の合言葉で無償の企業支援姿勢が「チーム・ジャパン」で広がれば、他のコミュニティーにも波及する。次回は8月を予定。問い合わせはWEBページから。 <http://japanesenet.org/>



参加者の質問に一つ一つ答えられる梅田さん